

人類の  
発祥の地は  
東アフリカ  
？

発行者 公認心理師/社会福祉士 堀川重敏

第15巻 第30号

# 遠いご祖先さまのこと

記事内容はわたし個人の見解であり、すべての方への有効性は保証できません。  
ご意見などの宛先 horikawassw@gmail.com



この記事を書いているのは、8月15日。  
繰り返しになりますが、毎年この十日ほどは戦争を忘れないための日々。  
もっと大きく振り返ってみました。

## ☆1

人類の祖先はアフリカ大陸で進化した霊長類であると考えられています。

500万年頃前に東アフリカで『猿人』、200万年頃前に『原人』へと進化を続け、現生人類は50万年ほど前にアフリカ・アジア大陸で進化したという説が有力です。

でも、7万4千年ほど前にインドネシアで起こった火山の大噴火によって、大半が滅び、気候変動を乗り越えた祖先が再度アフリカから出発して、生き延びていたネアンデルタール人(白色人種)を吸収しながら世界中に広がったと言われています。

## ★2

その頃の祖先は、現代人と言うなら黒色人種だったそうです。当時はジャイナ教も仏教も、ユダヤ教もキリスト教もイスラム教もありません。強いて考えるなら、太陽や自然そのものに神様を感じて生きていただろうと考えられます。

世界中の人々の祖先がアフリカで暮らしていたことを考えると、人種差別や宗教戦争は大規模なきょうだいゲンカですね。

## ☆3

現代に生きるわたしたちの悩み苦しみの大もとには『人間関係』が原因だと言います。

そう考えれば、国と国、宗教と宗教が領土や資源、考え方の違いを理由に争うことに不思議はないのかも知れません。

しかし、一部の人の思惑で、平凡な日常を暮らしている人を支配して、さらには人殺しまでさせることは承服できません。

## ★4

日常生活では、わたしを支配する人との縁を切ることは難しい。

でも、身近な人を選べるならば、あなたを支配する人を選んではいけません。

自分(たち)の都合に合わせてわたしたちを支配する人、自分の考えが正しいと大きな声で話す人、あなたのためだからと自由を奪う人を選ばないようにしたいものです。

